2026 年度強化指定選手選考基準と処遇

強化指定選手選考基準（パーク・ストリート各性別共通）

※全ての強化指定選手および特定育成対象選手は、ワールドスケートジャパン（以下：WSJ）の競技者登録を済ませる必要がある

また、強化指定選手および特定育成対象選手については、大会成績等に基づく選考があり、候補となった後、WSJ と選手の両者合意のもとで強化指定選手および特定育成対象選手となる

1. 強化指定選手の選考方法

WSJ が定める 2026 年度 WSJ 強化指定選手（以下「強化指定選手」）は、以下のように選考する。

- WSJ ランキングの上位 8 名
但し選考数に変更がある場合は大会要項と同時に発表する。
※パンデミックおよび世界情勢等により大会が開催できない場合には、追加大会を行わない。
- 上記対象の候補選手が強化指定選手登録を辞退した場合でも、下位選手からの繰上げは行わない
- 国際連盟（IF）による 2025 年 4 月 3 日の発表に伴い、国際連盟が定める制限年齢に満たない選手が強化指定選手に選考される成績であった場合でも強化指定選手としてではなく、特定育成対象選手での選考となる
※世界情勢及び今後発表される国際連盟 World Skate（WSK）ルールの内容等により、変更に関する協議が必要となる場合がある

強化指定選手のランクは以下のように区分する

- (1) 強化指定選手 A
WSJ ランキングの 1 位、2 位、3 位の選手
- (2) 強化指定選手 B
WSJ ランキングの 4 位、5 位、6 位、7 位、8 位の選手
- (3) 特定強化指定選手 I
世界ランキング 3 位までおよび国際連盟が主催する国際大会への参戦権を保持する選手
- (4) 特定強化指定選手 II
世界ランキング 4 位以下および国際連盟が主催する国際大会への参戦権を保持する選手

(5) 特定育成対象選手

①WSJ ランキング 1 2 位までの選手

②上記強化指定選手で、強化指定選手への認定期間が通算 3 年間未満の選手は特定育成対象選手でもある

2. 強化指定選手および特定育成対象選手の期間について

●強化指定選手

2026 年春開催予定の日本 OPEN 終了後の WSJ ランキング確定後より強化指定選手期間が開始し、2027 年 3 月 31 日をもって 2026 年度強化指定選手期間を終了とする。

各国際大会派遣期間も同様とする

世界情勢により 2026 年度内に次年度日本選手権が行われなかった場合は、WSJ スケートボード委員会にて協議し、今後の方針を 2026 年内に発表する

●特定強化指定選手

世界ランキングにより国際連盟が主催する国際大会への参戦権を保持する選手が参戦権を喪失するまでの期間とする

特定育成対象選手

強化指定選手と同じ

3. 強化指定選手および特定育成対象選手の種別と処遇

(1) 強化指定選手 A

- 国際大会派遣費用の 100%を支給（WSJ 派遣大会に限る）
- WSJ 国内外における WSJ 強化合宿費用 100%を補助
- 新潟県村上市ナショナルトレーニングセンター（NTC）競技別強化拠点利用可

(2) 強化指定選手 B

- 国際大会派遣費用の 75%を支給（WSJ 派遣大会に限る）
- WSJ 海外における WSJ 強化合宿費用の 75%を補助
- WSJ 国内における WSJ 強化合宿費用の 100%を補助
- 新潟県村上市 NTC（ナショナルトレーニングセンター）競技別強化拠点利用可

(3) 特定強化指定選手 I

- 国際大会派遣費用の 100%を支給（WSJ 派遣大会に限る）
- WSJ 国内外における WSJ 強化合宿費用の 100%を補助
- 新潟県村上市 NTC（ナショナルトレーニングセンター）競技別強化拠点利用可

(4) 特定強化指定選手 II

- 国際大会派遣費用の 50%を支給（WSJ 派遣大会に限る）
- WSJ 海外における WSJ 強化合宿費用の 50%を補助
- WSJ 国内における WSJ 強化合宿費用の 100%を補助
- 新潟県村上市 NTC（ナショナルトレーニングセンター）競技別強化拠点利用可

(5) 特定育成対象選手

- 新潟県村上市ナショナルトレーニングセンター（NTC）競技別強化拠点の利用可
- WSJ 主催の強化合宿などへの参加が可能
- 活動にかかる費用補助割合に関しては事案によって異なるため都度調整とする

※国際大会派遣費用とは、現住所から出発空港への交通費および前泊が必要な場合の宿泊費、出国空港からの往復航空券（エコノミークラス）、現地移動費、現地宿泊費が含まれる。食費の補助（規程に基づく）は WSJ が負担する。

※エントリー費用および大会期間に該当する海外旅行保険費用は、個人参加および途中合流、途中離脱する一部期間が連盟派遣となる選手を含むすべての参加選手について WSJ が負担する。

4. WSJ ランキング

日本選手権と日本 OPEN の合算ポイントが WSJ ランキングとなる。※別表あり

令和 7 年 9 月 2 2 日